



中学部のキャリア教育について

将来の社会的自立に向け、必要となる基本的な能力や態度を育てるという視点で、学校生活全般を通してキャリア教育を行っています。

作業学習では、様々な作業を通して挨拶や報告の仕方など、将来働く上で必要となってくる基本的な習慣や態度を身に付けることを重点的に取り組んでいます。ヤクルト富岡センターや学習発表会での販売では、実際に自分たちが作ったものをお客様に買って喜んでもらったことで、これまで以上に集中して作業に取り組んだり、製品を作る時に配色を工夫したりする姿が見られるようになりました。



また、作業学習の時間に高等部の就業体験を見学に行きました。事後学習では、高等部生になるにはどうしたらよいのか自分の進路や将来の夢について考えるよい機会となりました。この他に、クラスごとにも高等部に見学に行き、進路についての学習を行いました。

3年1組は、6月に高等部へ行き、実際に作業体験を行いました。高等部での生活をより知ることができ、積極的に物事に取り組むなど、進学に向けて意欲が高まった様子が、普段の学校生活でも見られるようになりました。

2年1組は、9月に高等部へ行き、朝の運動や作業以外の学習の様子を見学しました。事後学習では、中学部での学校生活との違いについて確認するとともに、時間を守ることの大切さについても確認しました。朝の学習に参加できたことが楽しかったようで、どの生徒も高等部進学への夢が膨らんだようでした。

1年1組は、3学期に高等部を見学し、先輩から学校生活について教えてもらう予定です。

2組の生徒は、6月に高等部に進学した先輩に会いに行きました。3月まで一緒に教室で学習していた先輩が、高等部ではどのように学校生活を送っているのかを知ることができました。



総合的な学習の時間では地域の産業に関わる学習として絹について学習しています。実際に自分たちで蚕を飼育し、収繭、糸取りまでを行い、取れた生糸を染めてコースターに仕上げました。この学習では、絹への関心を高めるだけでなく、他者との協働にも重点を置いて取り組んでいます。

